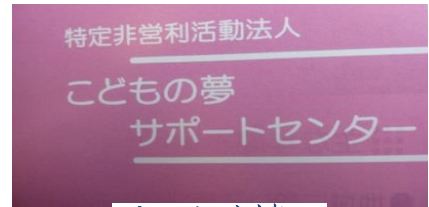


| | | |
|--------------------------------|------------------------------------|---|
| 第35号 (3月号) 2016年 3月1日 | 七里ヶ丘こども若者支援研究所 それが社会参加だ! | 住所:鎌倉市七里ヶ浜東 2-31-12 連絡先:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長:新舛秀浩 発行責任者:滝田衛 |
|--------------------------------|------------------------------------|---|

『地域の子どもの未来のために』

私たちと一緒に活動しませんか 山本陽子さん(会員)

NPO法人「こどもの夢サポートセンター」は、平成27年6月から活動を開始しました。“すべての子どもに開かれた未来を”をスローガンに子どもたちの夢と希望をサポートする活動を行っています。以下に主な活動を記します。



1. 「もっと勉強したい」「塾に行きたいけど…」など家庭の事情で思うように勉強できない子どもたちに学習支援の場を提供する。
(地域における無料塾の推進)
2. 横須賀市との協働事業で、市内の養護施設の子どもたちの学習支援に携わっている講師の派遣と、講師を対象にした研修の企画と実践を行う。

スタート年の今年度はこの2点だけですが、将来的には、子どもたちにいろんな体験をさせられるようなイベントを企画し、子どもたちが多くの人に接し、社会で必要なものを身に付け、夢を抱き実現に向けて着実な歩みができるようにサポートしていく活動を始めます。

私たちの活動をより充実したものにしていくためには、一人でも多くの賛同して下さる方々を増やすことにかかっています。講師になって下さる方も募っています。ぜひ、皆さんの余力をお貸しください。ご連絡をお待ちしています！

【問い合わせ先 理事長 田淵勝廣 TEL046-834-2858】

コラム風

2月20日付の神奈川新聞読者欄の鎌田琴美さん(18才高校生)の投稿「おかしい「今の子…」発言」に共感しました。主旨は『大人が言う「子どもの言葉遣いがおかしい」「外遊びが少ない」などと言う人(大人)はおかしいと感じます。…「今の子は」という大人が、「今の子」をつくってしまっているのです。「今の子は」というだけではなく、悪い流れを断ち切るために**行動しなければならぬ**と思います。…良いものは残し、悪いものは改善して行くべきでしょう。』と。こども若者支援研究所活動では、鎌田さんの願いを



受けとめ共有する行動をしていきます。子どもの生きづらさに共感することで終わるのではなく、大人が子どもの育つ環境改善を進めて行くことが重要だからです。巻頭の「夢サポートセンター」が学校教育を補い子どもを励ますのではなく、学校教育の改善と子ども



を中心とした市民の子育て教育環境づくりへ進んでいくことを願います。写真2枚は大和市での高比良親子との講演会(左上)、応援団会議での篠原さんを囲んでの白熱する応援団会議風景(右)です。(滝田衛)

2月子ども若者応援団会議

篠原さん愛車で駆けつけ交流

3月26日に開催する、いじめ不登校解決サミット開催準備会議へ向け、篠原宏明さんとの交流と打ち合わせをしました。篠原さんは全国状況を次のように語ります。

「『いじめ防止対策推進法』が施行されて3年たちましたが一向にいじめは解決していません。いじめ自死がおきた際に学校現場では日常に戻す動きが早く、子どもや親御さんの気持ちを待つことなく教師のペースで区切りをつけ、子どもや親御さんが取り残されるのが実態です。また『みんな違ってみんないい』と主張する学校においても、講演するたびに個性を尊重されない学校現場が存在することを実感しています。」と。「いじめられている生徒さんにとって、絶対にいじめは解決するんだよ」というメッセージを伝えたいと篠原さんは断言していました。

サミット準備会当日は、篠原さんに問題提起を頂き、民間4団体と県市4教委が集い、いじめと不登校を討議します。応援団は解決に向けた市民サミット開催「宣言文」を公表する予定です。是非皆様のご参加お待ちしております。

さて、応援団員は皆さん多忙で欠席が多かったです。久しぶりに永野さんが駆けつけ国際交流の喜びを、飯田さんは就労への動きを、龍崎さんは中学生の自尊感情への支援を、新舩は逗子市教育長との交流を、川辺さんは子育ての課題を、安川さんは女性のちゃぶ台返しを、蘇武さんは高齢者の知恵を子どもと、それぞれ報告くださいました。3月26日いじめ不登校解決サミット開催準備会議でお会いしましょう(新舩秀浩)



それぞれの風



桃の花(川辺悟史さん撮影)

○本屋めぐりが趣味の僕は「私の1960年代」(山本義隆著)を見つけ読んでみた。60年安保から全共闘議長になった1968年までの、人間そして科学者としての深い考えにふれた。戦前の科学者の戦争責任、戦後の学者(丸山眞男氏等)の「主体性」を問う大学の市民(人民)への解放を掲げ、国家権力との戦いを挑むこととなる山本氏。僕も遅れてきた“青年”、その後の学校現象

—いじめ・不登校—は氏の時代の生き方の延長線上にあるような気がして仕方がない。「戦後民主教育」が子どもと市民を追いこむ現実から、市民・子どもに教育権をとりもどす行動が問われていると。4月施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(内閣府)」に今の学校は対応できないと危惧する。みなさんのお考えは？

○1月30日小田原市「不登校講演会自分らしく生きる」、2月6日大和市「子ども発達シンポジウム～自分らしく地域とつながる～」、2月20日横浜市栄区「自分らしく地域とつながる～豊かな地域社会づくりに大切なこと～」、講演会をさせていただき、多くの人との出会いと学びを得ることができました。講演会20回実施、行政会議10回出席。出会った子ども若者・親御さんの思いを胸と背に今年度も進んできた。社会環境の改善。(滝田衛)

サミット開催準備会議ご参集ください。
終了後同会場です。
17時～17時30分
皆様のご参加お待ちしております。

3月研究所日程(駐車場有) 相談時間10時～16時 土日訪問相談

| | | | |
|--------|-------|---------|-----------|
| 3日(木) | 来客予約済 | 21日(月祝) | お休み |
| 7日(月) | 相談 | 24日(木) | 相談 |
| 10日(木) | 相談 | 26日(日) | サミット開催準備会 |
| 14日(月) | 相談 | 28日(月) | 相談 |
| 17日(木) | 横須賀市 | 31日(木) | 他事業 |